

診療のご案内

診療科目	診療時間	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		医師名	専門外来	医師名	専門外来	医師名	専門外来	医師名	専門外来	医師名	専門外来
内科 (予約制)	9:00~11:00	松本 都 谷口陽介 山田健嗣 黒田 豊	消化器内科 循環器内科 脳神経外科 腎臓内科	野村基子 森田和子 北川友通 丹治英明 萩原莉恵 森 穂波	呼吸器内科 神経内科 脳神経外科 糖尿病内科 腎臓内科 (CAPD外来)	松本 都 小森健二郎 吉田昌史 吉田奈々絵	消化器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 循環器内科	菅原養厚 進士弥央 田中 博 吉田昌史 森田和子	循環器内科 糖尿病内科 呼吸器内科	黒木昌寿	糖尿病内科
	14:00~16:00	川上 務 山田健嗣 黒田 豊	呼吸器内科 脳神経外科 腎臓内科	野村基子 萩原莉恵 吉田奈々絵	肺癌2次 糖尿病内科 循環器内科	齊藤一美 森 穂波 木本瑞穂 牧 尚孝	消化器内科 腎臓内科 糖尿病内科 循環器内科	菅原養厚 進士弥央 田中 博 森田和子 睦好祐子	循環器内科 糖尿病内科 呼吸器内科 腎臓内科	松本 都 森 穂波 黒木昌寿 森 穂波 山下博史	消化器内科 腎臓内科 糖尿病内科 腎臓内科 神経内科
初診外来	9:00~11:00	黒木昌寿 森 穂波 吉村一樹	初診外来	黒田 豊 菅原養厚 黒木昌寿	初診外来	黒田 豊 吉野 望 小熊妙子	初診外来	黒木昌寿 黒木昌寿 河村匡捷	初診外来	黒田 豊 吉田奈々絵 山下博史	初診外来
小児科	9:00~11:00	中村明夫 加賀文彩 百村芽衣	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 百村芽衣	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 百村芽衣	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般
	15:00~16:00 予約制	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般			加賀文彩 笠神崇平	小児科一般
	15:00~16:30 予約制					中村明夫 臨床発達心理士	生活習慣病 カウンセリング (第1,第3)			占部良介	小児神経 (第1,第3)
	予約制	予防接種(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)	予防接種(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)	予防接種(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)	乳幼児健診(13:30~14:30)
外科	9:00~11:00	植松武史 塩川洋之	消化器・ 外科一般	神宮和彦 山崎信人	消化器・ 外科一般	塩川洋之 岡田 嶺	消化器・ 外科一般	植松武史 神宮和彦	消化器・ 外科一般	岡田 嶺 山崎信人	消化器・ 乳腺外科
整形外科	9:00~11:00	坂口勝信	肩関節			飯塚秀樹 寺山恭史	脊椎・腰痛・ 狭窄症 手の外科	平沼浩一 伊藤賢太郎	整形外科 一般	正田健太	整形外科 一般
	14:00~15:00	坂口勝信 伊藤賢太郎	肩関節 骨粗鬆症	田中伸哉 伊藤賢太郎	変形性膝・股関節 症・骨粗鬆症 スポーツ整形	飯塚秀樹 寺山恭史	脊椎・腰痛・ 狭窄症 手の外科	平沼浩一 伊藤賢太郎	整形外科 一般	田中伸哉 関端浩士	人工関節 スポーツ整形
皮膚科	9:00~11:00 14:00~15:00	山田朋子 山田朋子	皮膚科一般	大瀧 薫	皮膚科一般	山田朋子 大瀧 薫	皮膚科一般	山田朋子 大瀧 薫	皮膚科一般	大瀧 薫 山田朋子	皮膚科一般
泌尿器科	9:00~11:00	前田重孝 中條 洋	泌尿器科 全般	交代制 中條 洋	泌尿器科 全般	前田重孝 中條 洋	泌尿器科 全般	田中晴郎 前田重孝	泌尿器科 全般	田中晴郎 中條 洋	泌尿器科 全般
婦人科 (予約制)	10:30~12:00 水曜13:30まで 14:30~16:00	三澤将大 三澤将大	婦人科			柴田あずさ	婦人科	堀内 功 西林 学	婦人科	今野 良 小池信行 田口 諒	婦人科
眼 科	9:00~11:30	小池信行 田口 諒	眼科一般	小池信行 田口 諒	眼科一般	小池信行 田口 諒	眼科一般	田口 諒	眼科一般	小池信行 田口 諒	眼科一般
耳鼻 咽喉科	9:00~10:00 14:30~16:00 予約制	澤 井洋 澤 井洋	耳鼻咽喉科一般	吉田尚弘	耳鼻咽喉科一般	島崎幹夫	耳鼻咽喉科一般	江洲欣彦 江洲欣彦	耳鼻咽喉科一般	柳原太一 柳原太一	耳鼻咽喉科一般
放射線科 (予約制)	9:00~11:00 14:00~16:00		画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制	画像診断 MRI・CT予約制
口腔外科 (予約制)	9:00~11:30 (初診~11:00)	鈴木 茂 林 勝彦	口腔外科 全般	鈴木 茂 押岡弘子	口腔外科 全般	鈴木 茂 高山岳志	口腔外科 全般	鈴木 茂 土屋絵美	口腔外科 全般	鈴木 茂 渡邊豪士	口腔外科 全般
	13:30~16:00	鈴木 茂 林 勝彦	口腔外科 全般	鈴木 茂 押岡弘子	口腔外科 全般					鈴木 茂 渡邊豪士	口腔外科 全般

* 検査・診療予約は、地域医療連携室まで電話かFAXにてご連絡ください。(受付時間 8:30~17:00) (土日祝日休み)
* 時間外診療は、日当直医師に取り次ぎ、出来る限り対処させていただきますが、専門医がいない場合は、お受け出来ない場合もありますのでご了承ください。
* 常勤医師名には黄色のラインを付けています。

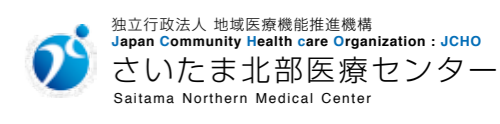
▶ 近隣医療機関の先生方へ

当院では先生方がご希望される専門診療科をご案内いたします。その際、最新の担当医表で診療科の日時をご確認ください。
もし患者さんのご都合等で、その他の時間帯に受診される場合には、可能な限り当該科の専門診療科医が診察する体制となっておりますが、場合によっては他の担当医が診察することをご承願いたします。

きたまち



- INDEX
- 01 ■ 病院代表者より
 - 02 ■ 外科のご紹介
 - 05 ■ 連携医療機関のご紹介 大島クリニック 大島 昌宏 院長
 - 06 ■ 診療担当医表



病院代表者より



JCHO さいたま
北部医療センター
副院長
小池 信行
診療科 眼科
出身大学 帝京大学
卒業年 昭和54年

今までの様に、変異株に伴う感染症流行の猛威を振るわないでほしい、というのが全世界の共通した認識だと思います。しかし実際は今後、どのような状況になるのか予測することが難しいと感じています。

新型コロナウイルス感染症流行の第5波が収まり、その後も新規感染者数は減少した状況が続いております。当院においても、昨年4月以降コロナ専用病棟として運用してまいりました6階病棟で10月12日に初めて、新型コロナウイルス感染症患者が0名となりました。しかしその後、数名の新型コロナウイルス感染症の患者を埼玉県調整本部からの入院要請により対応いたしました。まだまだ油断が出来ない状況と日々感じております。

当院がこの地域で求められている医療は、引き続き発熱外来や帰国者接触者外来の体制継続、そして新型コロナ専用病棟の運用に関しては入院要請があった時は、早急に対応できる体制を継続し、さらに近隣の医療機関や福祉機関からの入院依頼があった時にも対応できるようにしていくことと思います。

その理由は様々な有識者の先生から第6波がくると予想されており、さらに新型コロナウイルスの新たな変異株である「オミクロン株」が南アフリカで確認され、日本政府も強い危機感を持って水際対策をされています。

そして当科(眼科)においては、引き続き白内障を始め可能な限り地域住民のQOL(生活の質)を少しでも高めることが出来る様に努めてまいります。
今後とも引き続き宜しくお願いいたします。



掲載内容についてのご相談・ご質問は、下記までご連絡ください。
さいたま北部医療センター 地域医療連携室 TEL. 048-653-7858 (直通) FAX. 048-613-3925




急性虫垂炎治療の現状

JCHO さいたま
北部医療センター

植松 武史

診療科 外科
出身大学 千葉大学
卒業年 昭和 55 年



私たちは現在以下の領域における診断と外科手術治療（腹腔鏡下手術を含む）を行っています。

診療内容

- 食道、胃、十二指腸から大腸、肛門に至る消化管疾患（腫瘍・炎症など）
- 肝胆膵悪性疾患
- 胆石症などの腹部良性疾患
- 急性虫垂炎やヘルニアなどの一般外科疾患
- 消化管穿孔やイレウスなどの腹部救急疾患
- 乳腺疾患（乳がんなど）
- がん化学療法、緩和治療、高次医療機関からの退院調整応需

大まかには腹部悪性腫瘍と、急性腹症を主に診療しています。

JCHO さいたま
北部医療センター

神宮 和彦

診療科 外科
出身大学 山梨医科大学
卒業年 昭和 63 年



さて、ご存知の通り急性腹症は突然発症した急激な腹痛の中で緊急手術やそれに代わる迅速な初期対応を求められる腹部疾患群のすべてを総称しています。そのなかで最も日常的に遭遇するのが急性虫垂炎です。

当科では 2019 年度は 35 例、2020 年度は 34 例の急性虫垂炎の手術を手がけ腹腔鏡下手術を原則としてい

Saitama Northern Medical Center

連携医療機関のご紹介

Vol.15 **大島 昌宏 院長**
大島クリニック

【住 所】 埼玉県さいたま市
北區本郷町 558-1
【TEL】 048-654-0053
【診療科】 内科・消化器内科・
外科



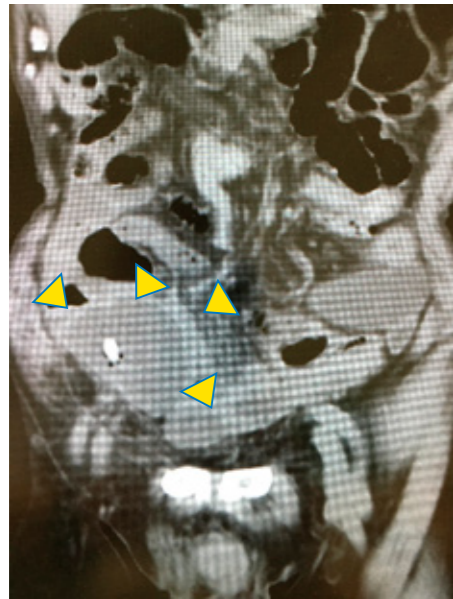
診療時間表

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	9:00~13:00	休
15:00 ~ 18:30	○	○	○	休	○	休	休

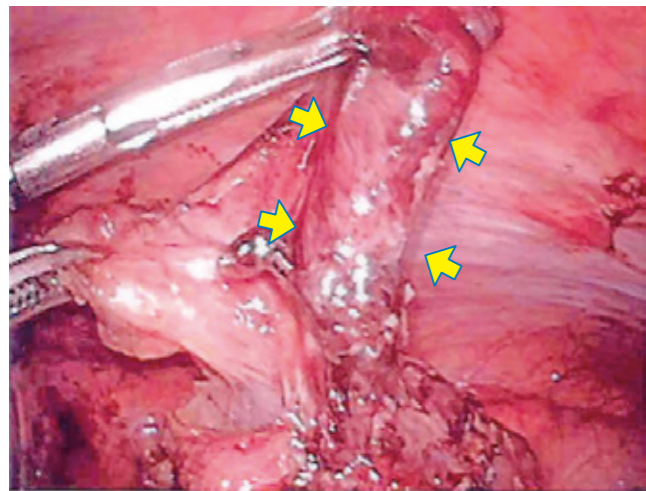
祝祭日年末年始は休診。ご来院の際は、事前にお電話にてご確認ください。

この度、さいたま北部医療センターと協力医療機関として連携協定を締結していただきました、大島クリニックの大島 昌宏先生へ日頃の感謝の気持ちを込めてインタビューをさせていただきました。

- 診療案内について**
ニューシャトル「東宮原駅」より徒歩10分。
内科、消化器内科、外科を標榜しており地域の「かかりつけ医」として居心地の良い空間を提供できたらと考えています。
- アピールポイントや診療時に心掛けている事について**
地域の皆さんが安心して暮らすことができ、心の支えと思って頂ける地域の「かかりつけ医」となるべく、情熱を燃やしてまいりました。それはこの地域において少しでも関りを持ち、地域の皆さんの健康な生活を少しでも支えていきたいという私の願いでもあります。
病気が怪我といった体の問題が起きてからお越しいただく場所だけではなく、地域の皆さんのコミュニティの場所であり健康管理センターとしても機能していくことができたらと考えています。
全ての皆さんがご満足いただける医療を目指し、医療・看護の質を向上させ、職員一同の意識改革に取り組んでいます。その為に、問診・診察に十分に時間をかけ、しっかりとコミュニケーションを取り、何でも気軽にご相談いただける雰囲気を目指しております。
- さいたま北部医療センターをどの様な時に、ご利用して頂いておりますか？**
当院で診療している患者さんで、紹介が必要な時に紹介先のご希望を伺うと、6割以上がさいたま北部医療センターを希望されていると思います。当院から一番近い総合病院となりますので、希望される方が多いのだと思います。
また患者さんのことで困った時に、午前中は紹介担当の先生が毎日診察されているので、予約もする必要もなく即日で診察して頂いており、本当に助かっております。
その他にも、外科や泌尿器科や整形外科と充実した診療体制ですので、安心してご紹介をさせて頂いております。
- 当院について何かご意見が有ればご教授ください。**
最近では、このような企画もそうですが、貴院の地域医療連携室が中心となり顔の見える関係性が構築できたと思います。昔に比べ、相談がしやすい病院になったと感じています。
- 今後のさいたま北部医療センターへ期待していることが有ればご教授ください。**
今後も引き続き、患者さんのことで、ご紹介やご相談のしやすい病院として継続して頂きたいと思っております。
診療体制も、年々充実してきていることを日々感じており、そしてご紹介がしやすい診療体制にする為に努力されていることも感じております。地域の中核を担う病院として今後とも引き続き末永くよろしくお願いいたします。



左のCT写真は虫垂穿孔、膿瘍形成の症例で経皮的に膿瘍ドレナージチューブを挿入し3か月後にLapIAを施行しました。虫垂は周囲組織との癒着はありましたが鈍的鋭的に剥離が可能で回盲部切除をすることなく虫垂は根部で処理することができました。病理組織では線維化とリンパ球浸潤を伴う肉芽組織形成をきたしていました。



JCHO さいたま
北部医療センター

山崎 信人

診療科 外科
出身大学 東邦大学
卒業年 平成27年



以上のように私たちは急性虫垂炎に対しては患者さんの希望に沿いながらもより手術侵襲がなく術後合併症をきたさない治療法選択をする方針で臨んでおります。

ます。そして多くは入院当日から2日目までに手術を行っていますが、「今回は薬でちらしたい」という患者の希望により抗菌剤による保存的治療を選択する場合があります。しかし、単純性虫垂炎（非壊疽性、穿孔なし、膿瘍形成なし）で保存的治療成功後に約30%に虫垂炎の再発がみられるという報告もあります。それを踏まえ保存的治療後に一定期間をあけて後日再入院のうえ予定手術として腹腔鏡下虫垂切除術を受けていただくことを患者さんにはお勧めしています。これを腹腔鏡下待機的虫垂切除術（laparoscopic interval appendectomy、以下LapIA）と呼んでいます。当科ではLapIAは2019年度には6例、2020年度には9例に行いました。

JCHO さいたま
北部医療センター

塩川 洋之

診療科 外科
出身大学 東邦大学
卒業年 平成8年



LapIA 施行例の多くは前述のような軽症の単純性虫垂炎ですが、反対により重症で、あるいはコントロール不良の基礎疾患を持つ患者さんで、穿孔や膿瘍形成を伴う複雑性虫垂炎に対してLapIAを選択する場合があります。これは虫垂根部から盲腸にかけて強い炎症・浮腫がみられる場合は回盲部切除のような侵襲をと

なう手術を必要としたり、遺残膿瘍やSSIなどの術後合併症の発生が危惧されるからです。こうしたケースではまずは強力な抗菌剤での治療を先行し、自覚症状や検査データが軽快傾向となったところでいったんは退院していただきます。そして数か月後に急性炎症が完全におさまった頃に手術をおこないます。

JCHO さいたま
北部医療センター

岡田 嶺

診療科 外科
出身大学 東邦大学
卒業年 平成19年



2019年度には1例、2020年度には2例がそうした症例で保存的治療から3か月から5か月後にLapIAを行いました。手術時の所見では虫垂の周囲組織との癒着により腹腔鏡下での手術操作に難渋することはありませんでしたが、全例急性炎症はおさまっており組織学的には慢性虫垂炎の像となっていました。全例術後合併症なく退院され、患者さんにとってたいへんメリットがあったと考えています。

